

成田ともきニュース

発行元 生駒市議会議員 成田智樹 〒630-0244 東松ヶ丘 7-1-306 TEL. 73-8313

みなさまの声を実現!!

俵口小学校正門更新工事完了

俵口小学校の正門が新しくなりました。これは、成田ともきが保護者から、正門が経年劣化やサビ等により、開閉困難な状態であることをお聞きし、市に改善を要望していたもので、児童の安全確保の観点から、卒業式前に実現いたしました。



重かった門が、軽い開閉が簡単な門に取替えられました



生駒市議会公明党の主な実績

- 子宮頸がん予防ワクチン接種公費助成導入および対象者拡充
- 乳幼児健康診断（健診）に集団健診を導入（1歳6カ月児）
- 事業系ごみ処理手数料の見直し・適正化
- 南コミュニティセンターに太陽光発電パネルを設置

新（別掲）等の実績をあげる事ができました。また、生駒市議会公明党としても、数多くの施策を実現いたしました。これからも、みなさまとともに、さまざまな施策実現のため、真剣に取組んでまいります。



おかげさまで初当選からはや1年
これから初心忘れず走り抜きます!!

3月議会が無事終了。成田ともきは、東日本大震災そして原発事故発生から、はや1年。生駒市議会議員となったことを深く心に刻み、この1年一貫して、市民のみなさまの暮らしの安心安全確保のための施策実現のため懸命に取組んでまいりました。

そして、成田ともきは、市の指定避難所の耐震化率目標の見直し（90%↓100%）、被災者支援システム（災害発生時、リ災証明書の発行、義援金給付等、自治体業務を円滑に行うためのシステム）の導入、俵口小学校正門の更

生駒市議会トピックス

平成24年度一般会計当初予算案ほかを可決

3月6日から23日まで、平成24年度生駒市議会第1回定例議会が開催されました。計39議案について審議が行われ、うち、約330億円に上る平成24年度生駒市一般会計および特別会計などの当初予算案が、予算審査を経て原案通り可決されました。その他、「リニア中央新幹線中間駅を学研都市高山第2工区に設置を求める決議」を含む、36議案が可決・成立いたしました。（裏面に主な議決事項を掲載）

議会報告会を開催

1月28日と2月1日の両日、市役所4階大会議室など4会場において、「議会報告会」を開催いたしました。合計で130名を超えるご来場をいただき、ご質問ご要望等を承りました。（議会ホームページに質問等に対する回答を掲載）

3月議会での主な議決事項

平成24年度当初予算案を可決

◆子育て支援の充実

○私立保育所施設整備助成

平成24～25年度にかけて私立保育所4園開設

◆学校教育の充実

公明党が推進！

○全小中学校へ学校図書館司書を派遣

◆生涯学習の推進

○中央公民館耐震補強工事及び増改築工事

○郷土資料館新設事業

◆環境配慮社会の構築

○防犯灯の全市域一斉のLED化

◆適切な土地利用の推進

○リニア中央新幹線関連調査

高山第二工区に新駅誘致のための基礎調査実施

平成23年度一般会計補正予算案を可決

◆地域防災体制の充実

○消防救急無線デジタル化整備事業

○北分署整備事業

消防署北分署と鹿ノ台分署を統合し救急車1台増車

条例の制定について可決

○生駒市手数料条例の一部改正

住民基本台帳カードの無料交付期間を延長

○生駒市職員の給与に関する条例の一部改正

自転車通勤者への通勤手当を月額1,500円増額

生駒市、生駒市議会のうごきはインターネットのホームページで随時確認できます。

生駒市

検索

自由自在

今春は桜の開花も遅れ、例年に比べ寒い日が続いた。「決められない政治からの脱却を図る」と声高に叫びながら、消費増税法案提出前に党内の意見集約すらできず、政治不信を助長するばかりの与党もまたしかり。ここまでお寒いとは、想定外にもほどがある。

自身は、常に「熱い」日々の活動であらんことを肝に銘じ、二年目に臨みたい。

(智)



平成24年3月議会

成田ともきの 一般質問（要旨）

I 通学路の安全確保のための整備について

奈良県は、昨年6月「奈良県安心歩行空間整備方針」を策定し、歩道が未整備であるなど、歩行空間が確保されていない通学路の重点的な整備を推進するとしています。昨年8月には生駒市内12小学校の通学路について、対策が必要な箇所の有無に関するアンケート調査が実施されており、今後の生駒市の取組みを確認しました。

問 アンケート調査によりどのような事実が判明したか。

答 鹿の台、真弓、あすか野を除く、9小学校の通学路において、国県道関係で17カ所、市道関係で40カ所の対策が必要な箇所が抽出された。うち、生駒東、生駒南の2校の通学路をモデル地区として、本年1月、郡山土木事務所、生駒警察署、市関係課、両校の教頭など関係機関による現地点検を実施し、課題共有が図られた。

問 通学路の整備について、どのように進めていくか。

答 国県道関係分については、県が対策方法を検討し、早期に実現可能な箇所から取組むと確認している。市道関係は、市として関係機関等と調整を行い、通学児童や交通量の多い通学路から優先的にその対策を早急に検討していく。

II 河川・水路の清掃・維持管理について

「生駒市総合計画」には、「市民との協働による河川美化活動などの推進を図る」として、3月の「大和川一斉清掃」、11月の「竜田川クリーンキャンペーン」などの清掃・美化活動が実施されています。市として河川・水路の清掃・維持管理業務が計画的に実施されているか確認いたしました。

問 河川・水路の清掃・維持管理は計画的に行われているか。

答 市内には河川・水路が39あり、延長距離では、23.5%が県の管理、76.5%が市の管理である。市としてすべてを管理するのは困難であり、清掃、草刈り等が必要な53カ所について定期的な清掃、定期点検を実施しているほか、梅雨時期、台風発生時等にも臨時的な作業を行っている。

成田ともきは、引続き、本市の通学路の安全確保のための整備への取組みについて、その進捗状況を確認してまいります。

また、市内の河川・水路の計画的な清掃・維持管理を推進し、安心安全な街づくりとともに、次世代に引き継げる良好な環境、景観整備のため取組んでまいります。